

会社一丸で環境対策

山本運送 グリーン経営を取得

【愛知】「社員の士

気も上がり、会社が一体となっていて」と語るのは、グリーン経営を取得したばかりの山本直樹社長（山本運送、知多郡武豊町）。

山本社長は「運送

事業は公共の道路を利用して収益を上げる仕事。トラック輸送は排ガスを排出する。大気汚染につながるため、グリーン経営によって社会的責任を果たすことができる」と説明する。

環境方針について、全社員に周知徹底を図り、燃費向上、エコドライブ運動の徹底に加え、エコマーク製品の優先購入も盛り込んだ。

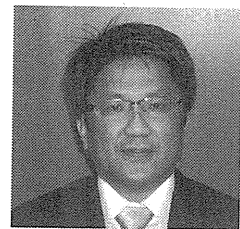
山本社長は「運送事業は公共の道路を利用して収益を上げる仕事。トラック輸送は排ガスを排出する。大気汚染につながるため、グリーン経営によって社会的責任を果たすことができる」と説明する。

徹底している。

ITを活用しながら燃費、運転をチェック。エンジンの回転数を抑え、最高速度厳守も徹底させた。その結果、燃費を11%改善することができた。車両は1台1台の燃費をチェック。燃費の悪い車両2台は代替え

に踏み切った。

推進体制は山本社長をトップに経営推進委員会（田中林夫委員長）を設置。委員長がエコドライブ責任者、山本社長が整備管理を兼務し、全社員で課題克服に取り組んでいく仕組みとなっている。



山本社長

山本社長は「荷主からも、グリーン経営取得を勧められた。協力会社の中で、一番最初に取得することができた」と喜びを語っている。

（戸嶋昌子）